

週刊新社会

4月9日



2019年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 三辰工業ビル3F Tel.03-6380-9960 Fax.03-6380-9963

今週の本紙2面「政界メモ帳」は長南前議員の執筆。前号執筆は間違いでした。

賛否が分かれた議案①

国民健康保険当初予算は初の全員賛成

議員間で賛否が異なった主な議案を掲載する。

議案第5号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正」は高卒と短大卒初任給を1,900円(月額給与) 下げるなどの内容で、共産党が反対した。

議案第7号「行政組織の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定」は共産党が20年度からの会計年度任用職員導入の経過措

置のためだとして反対したが、果たしてそのとおりなのだろうか。

またこの条例は教育委員会が所管してきたスポーツ事業を自然経済推進部が行うとしている。この方が違和感があるのだが。

議案第8号「消費税法及び地方税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定」は、使用料等を税率10%に対応させる値上げ改定。消費税に反対する共産、市

民ネットが反対した。

議案9号「印鑑条例の一部改正」はコンビニで印鑑登録証明書交付ができるようにするため、個人番号カード(マイナンバーカード)使用を規定するもの。共産党と市民ネットが反対した。

議案第11号「太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例の制定」は30kw以上の太陽光発電装置の設置や発電について届出制とするもの。共産党は許可制にしなければ実効性がないと反対した。

議案第12号「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正」は保証人をつければ災害援護資金貸付は無利子にするなどの改善だが、共産党は保証人を付けなくても無利子にすべきと反対した。

議案第13号「心身障がい者結婚祝金支給条例の廃止」はこれまで障がいの程度によって1万円から2万円を支給しているがこれを廃止するもの。共産党が反対。

議案第15号「文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正」はこれまで規定されていなかった文化会館のロビーや階段の使用料を決めるもの。共産党は指定管理者が運営しているとして反対したが、直営なら賛成なのかと疑問が湧く。(残余の議案は次号)

表1 平成31年度各会計案総額と可否と反対会派

各会計案	総額	可否	反対会派
一般会計予算	490億8700万円	可決	共・市
国民健康保険特別会計予算	183億400万円	可決	なし
下水道事業特別会計予算	35億8200万円	可決	なし
用地取得特別会計予算	1億8000万円	可決	なし
介護保険特別会計予算	120億4600万円	可決	共・市
次木親野井特定土地区画整理事業特別会計予算	1億800万円	可決	なし
後期高齢者医療特別会計予算	17億7400万円	可決	共・市
水道事業会計予算			
収益的収入	34億9731万9千円	可決	共
収益的支出	29億9271万4千円		
資本的収入	1545万円		
資本的支出	17億7927万9千円		

県議選無投票 史上初か 国保当初予算全員賛成

3月29日に告示された県議会選挙は現職の磯部裕和氏(4期目、国民民主党)と木名瀬捷司^{しやうじ}氏(初、自民党)の後継、木名瀬訓光^{くみみつ}氏(初、自民党)が無投票で当選した。野田市選挙区で無投票はおそらく初めて。

平成31年度国民健康保険特別会計予算案が全員賛成で可決した。2年連続の国保料引き下げや医療サービス拡充が評価されたものと思われる。昨年度予算は一人が反対していた。